

スプリットシリンダ共振器の再現性がさらに向上！

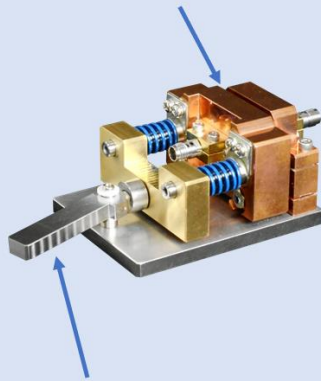
5G 向け誘電材料の評価に最適なスプリットシリンダ共振器の測定再現性がさらに向上しました。板状の試料をバネ圧によって固定する方式を採用したことにより、作業者に依存しない高い再現性が得られるようになりました。しかも操作が簡単なので、試料の評価効率が格段にあがります

複素比誘電率@28 GHz 測定例：100 μm 厚の低損失材料を出し入れしながら繰り返し測定

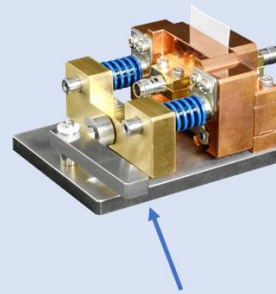
	ϵ	$\tan \delta$
測定 1	3.3971	0.00215
測定 2	3.3908	0.00220
測定 3	3.3921	0.00220
測定 4	3.3880	0.00224
測定 5	3.3972	0.00218

再現性の高い測定を 3 ステップで簡単に！

②板状のサンプルを挿入



①レバーでバネ圧を開放



③レバーを閉じてサンプル固定

注：新機構は 10 GHz から 50 GHz の全てのモデルに適用されます。

KEAD

株式会社関東電子応用開発

電話：042-576-2921

メール：info@kead.co.jp